

News Letter

Center for Environmental Conservation and Research Safety

2015.12
Vol.5

Contents

- 第9回 富山大学環境塾の開催について
- とやま大学エコライフキャンペーン
- 保護具着用について
- トピックス

富山大学環境
マスコットキャラクター
とみまる君



第9回 富山大学環境塾

気候変動による生態系の影響について考える

■主催／富山大学、富山大学環境安全推進センター ■共催／富山県



日時 平成27年 12/9 (水)
13:30~16:40

会場 富山大学五福キャンパス
黒田講堂ホール

対象 一般の方、学生、教職員

入場無料 事前申込不要

主要7カ国及びEUの環境担当大臣会合が2016年5月に富山で開催され、国際社会が直面する気候変動や温暖化対策などのさまざまな環境問題が取り上げられます。

今回の環境塾では、気候変動の状況とそれによって引き起こされている身近な生態系への影響について、皆様と一緒に、考えたいと思います。

タイムスケジュール

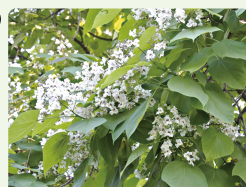
1	13:30~13:40	開会挨拶	富山大学長: 遠藤 俊郎 富山県生活環境文化部長: 村椿 晃
2	13:40~14:20	基調講演1「日本における気候変動の影響への適応計画について」	環境省 地球環境局 総務課研究調査室 久保 直人
	14:20~14:30	質疑応答	
	14:30~15:10	基調講演2「気候変動が山岳生態系に及ぼす影響」	富山大学研究推進機構極東地域研究センター 教授: 和田 直也
	15:10~15:20	質疑応答	
3	15:20~15:30	休憩	
	15:30~16:20	パネルディスカッション「気候変動による生態系の影響について考える」	司会: 富山大学大学院理工学研究部(理学) 教授: 横畑 泰志 パネリスト: 環境省 地球環境局 総務課研究調査室 久保 直人 富山県環境科学センター 主任研究員: 初鹿 宏壮 富山市立科学博物館 専門官: 根来 尚 富山大学極東地域研究センター 教授: 和田 直也 富山大学大学院理工学研究部(理学) 准教授: 山崎 裕治
	16:20~16:30	質疑応答	
	16:30~16:40	閉会の挨拶	富山大学 学長補佐: 平井 美朗
4		総司会	富山大学環境安全推進センター長: 野崎 浩一
		終了	

Q1



五福キャンパスメインストリート沿いに植えられているユリノキには花が咲くのですが、ユリノキの花はどれでしょうか？ユリノキはチューリップツリーとも呼ばれます。

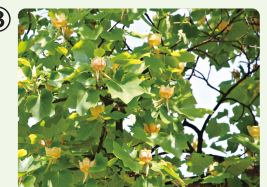
①



②



③



※答えは記事の中にあります。



とやま大学 エコライフキャンペーンを 実施中です

参加者全員に
参加賞を
プレゼント!



富山大学環境
マスコットキャラクター
クロロくん

とやま大学エコライフキャンペーンとは、環境安全推進センター、富山大学生活協同組合、富山大学生協学生委員会や公益財団法人とやま環境財団が主催となってエコドライブやエコライフに取り組む活動であり、平成27年10月13日（火）よりキャンペーンを実施しています。活動に参加いただいた方全員に参加賞のプレゼントもありますので多くの方のご参加お待ちしております。記録用紙等は生協食堂・店舗にて配布しています。

平成27年11月4日（水）には、五福キャンパス学生会館ホールにて、エコドライブ研修会及びエコライフ研修会を開催しました。

富山大学の教職員や学生を対象とし、研修会には21名の方に参加いただきました。研修会は2部構成となっており、第1部ではエコドライブ研修会として、富山県警察本部交通企画課課長補佐の松崎憲治氏や（一社）日本自動車連盟富山支部事業係の今井光義氏にご講演いただきました。

エコドライブ研修会の実施に際し、10月13日（火）より生協サービスカウンターにてエコドライブ記録用紙の配布をしており、研修受講前の給油状況や走行距離を記録し、研修受講後にエコドライブを実践することで、どれだけの違いがあるかを確認する活動を実施しました。

第2部ではエコライフ研修会を実施し、地球温暖化防止活動推進員・IPCCリポートコミュニケーターの町野美香氏や（一財）省エネルギーセンター北陸支部事務局長の島昌博氏にご講演いただきました。研修会の受講や節電・省エネ取組みリーフレットにて節電・省エネの取組内容をご確認いただき、エコライフに取り組んでいた結果をエコライフ記録用紙に記入し提出いただく活動を行っております（平成28年1月13日まで）。皆さまの活動への参加をお待ちしております。

普段の運転や生活のちょっとした気遣いや、心構えがエコドライブやエコライフに大きく繋がります。

記録用紙の提出期限

エコドライブ……平成27年12月4日（金）
エコライフ……平成28年1月13日（水）

エコドライブ 10のすすめ

エコドライブの達人パスポート
公益財団法人とやま環境財団

- 1 ふんわりアクセル『eスタート』
- 2 加速・減速の少ない運転
- 3 早めのアクセルオフ
- 4 エアコンの使用は控え目に
- 5 アイドリングはストップ
- 6 暖機運転は適切に
- 7 道路交通情報の活用
- 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック
- 9 不要な荷物は積まずに走行
- 10 駐車場所に注意



エコライフ取組み

節電・省エネ取組みリーフレット：公益財団法人とやま環境財団

エアコン

暖房時の室温は20℃を目安に
（富山大学では19℃を推奨）



照明・
テレビ

白熱電球をLED電球に
取り替える。



パソコン

パソコンを使わないときは、
電源を消す。

OFF



冷蔵庫

設定温度を強から
中にする。

給湯

シャワーは不必要に
流したままにしない。





化学物質を扱う時は保護具を着用しましょう

化学物質の使用において、溶剤などの飛沫を身体にばく露することによる薬傷・火傷等の災害が年間300件以上発生しています。特に、目の事故は重篤度が高く、年間100件近くにものぼっております。

1 あなたの身近なところで事故は起こります。

災害例

- ① 漂白液（次亜塩素酸ナトリウム）の容器のふたを外そうとしたところ、液がはねて右目に薬傷を負った。
- ② 水酸化ナトリウムをポリタンクに移していたところ、液がはねて両目に薬傷を負った。
- ③ 廃液をポンプで移送後、ホースを外そうとしたところ、廃液が飛散し、目、顔面に薬傷を負った。
- ④ 硝酸を用いて洗浄中、ポリ塩化ビニル製の手袋に空いた穴から洗浄液が浸透し、手指に化学やけどを負った。
- ⑤ tert-ブチルリチウムをシリンジで吸い取っていたところ、吹き出して発火し、白衣を着ていなかったためにセーターに引火した。事故を起こした女子学生は、全身やけどを負い、数日後に死亡した。

2 適切な保護具を着用しましょう。

化学物質を使用する際には、適正な保護具を着用しましょう。また、保護具は定期的に点検しましょう。

保護めがね

保護めがねは、作業中に発生する飛来物、飛来粉じん、浮遊粉じん、熱、有害な光から保護するために着用するめがねです。顔全体が危険にさらされる作業では防災面を併用しましょう。矯正めがねやサングラスは強度が弱いめがねの代用として使用できません。



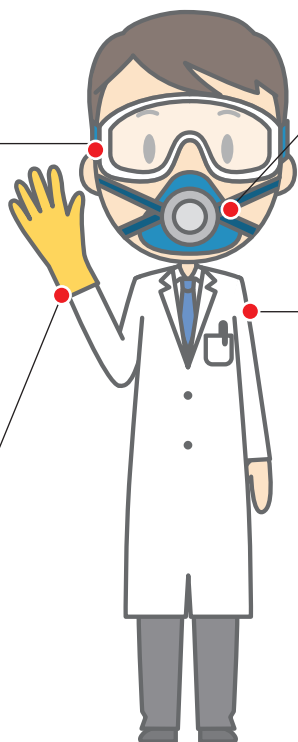
フッ化水素酸用手袋

化学防護手袋

化学防護手袋は、酸、アルカリ及び有害な化学物質を取り扱う作業に従事するときに着用し、化学物質の透過・浸透を防止する目的で着用する手袋です。

手袋は、使用する化学物質により耐浸透性能・耐劣化性能が異なるため、適正な手袋を選ぶ必要があります。

また、日頃から、手袋に破れや穴が開いていないか点検しましょう。



呼吸用保護具

呼吸用保護具は、粉じん、有害なガス・蒸気などの有害物質を吸い込まないように着用する保護具です。

作業内容により、適切な保護具を選び、サイズの合った保護具を着用してください。また、定期的に点検を行いましょう。



作業着

作業着は、危険な有害因子から身体を守るための服です。作業内容により適切な作業着を着用しましょう。

白衣には実験系白衣と医療用白衣があります。実験用白衣は、生地が厚く、危険な化学物質を取り扱う場合に使用します。薄い生地では皮膚に到達してしまうおそれがあります。また、実験系白衣には帯電防止加工がされているものがあります。薬品によっては、静電気で発火するものもあるので、必ず白衣を着るようにしましょう。また、医療用白衣は、実験系白衣より薄い生地となっております。最近では、七分袖の白衣もあります。一見、肌が露出して危ないようですが、化学などの実験では、白衣の袖や裾が実験器具等に引っ掛け重大な事故の原因になってしまうのを防ぐためとなっています。

着用の際は、ボタンを必ず留め、体のサイズや用途に合った白衣を選びましょう。

厚生労働省ホームページ、適正な保護具の選び方についてのリンクをご利用ください。

厚生労働省 薬傷・やけど対策

検索

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/yakushouyakedo.html>

「薬傷・やけど対策」の保護具情報はこちらでも発信しています。

公益社団法人 日本保安用品協会

http://www.jsaa.or.jp/html/appliances/hoan_02.html

（厚生労働省「化学物質による薬傷・やけど対策」リーフレット 参照）

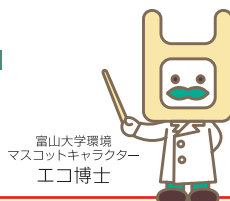
このようなマーク（GHS）があれば要注意



- 皮膚刺激
- 強い眼刺激
- 飲み込むと有害（経口）
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気やめまいのおそれ
- 皮膚に接触すると有害（経皮）
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 吸入すると有害（気体、蒸気、粉塵、ミスト）



- 重篤な皮膚の薬傷
- 重篤な眼の損傷
- 金属腐食のおそれ



富山大学環境
マスコットキャラクター
エコ博士



ナフタレンとリフラクトリーセラミックファイバーが 特定化学物質に追加されました

法改正

ナフタレンとリフラクトリーセラミックファイバーが、特定化学物質障害予防規則の発がんのおそれのある物質として新たに追加されました。これにより、ナフタレンまたはリフラクトリーセラミックファイバーを含む製剤の製造や、これらを取り扱う業務（飛散するおそれのある作業）を行う場合には、新たに、化学物質の発散を抑制するための設備の設置、作業環境測定の実施、特殊健康診断の実施、作業主任者の選任などが義務付けられ、作業環境測定や健康診断の結果、作業の記録などを30年間保存することが必要となります。



安全週間標語・リサイクル活動推進標語 採用作品が学内で活躍しています！



環境安全推進センターでは、平成27年5月11日（月）～6月12日（金）の期間中に、平成27年度富山大学安全週間標語及び富山大学リサイクル活動推進標語を募集し、多くの応募作品の中から、以下の作品を採用しました。

安全週間標語は、ポスターとして富山大学安全週間の期間中に、安全活動の啓発に活躍しました。

リサイクル活動推進標語は、ネッカーラベルに加工しました。富山大学生協同組合協力の下、ペットボトル飲料に吊り下げて販売することで、リサイクル意識の向上に活躍しました。また、今後ネッカーラベルのデザインを利用し、リサイクル活動推進シールの作成も計画しており、今後も益々活躍する予定です。

平成27年度
富山大学
安全週間標語

「安全は 個々の意識が 作り出す」

富山大学
リサイクル活動
推進標語

「ちょっと待って 捨てる前に ひと分別」
「考えて!! 君の手にある それはゴミ？」
「分別は 1人1人の 心がけ」

グリーン活動日記

ユリノキ活性化プロジェクトを実施しました

平成27年10月28日（水）にユリノキ活性化プロジェクトを実施しました。平成27年3月にも試験的に本活動を実施しています。今回は活動にご協力いただける学生さんを広く募集し、8名の学生さんにご参加いただきました。理学部の岩坪先生指導の下、前回よりも広範囲で実施し、特に成長が遅いユリノキを中心に肥料の打ち込みやパーク堆肥による土壌改良を行いました。ユリノキが植えられている土壌は粘土質で固く、砂利も多いため穴を掘るのは大変な作業でした。今後も継続的に実施し、少しずつでもユリノキが元気になっていくことを期待しています。



グリーンカーテンとグリーンカーペット

環境安全推進センターでは、昨年度に引き続き、グリーンカーテンとグリーンカーペットを実施しました。グリーンカーテンは琉球朝顔を植え、夏の間、窓から差し込む光を遮り、涼しげな空間を演出してくれました。また、グリーンカーペットは土嚢袋にサツマイモを植え、地表面の気温上昇を抑えることに一役買ってくれました。高岡キャンパスにおいても花壇にサツマイモを植え、グリーンカーペットを実施しました。グリーンカーテンやグリーンカーペットに興味のある研究室や部署がございましたら環境安全推進センターまでご連絡ください。実施に際してご協力いたします。



編集後記

NewsLetter第5号を発行することができました。これまで富山大学で活動される皆様の教育や研究にお役立ていただきたいお知らせや、注意事項等様々な情報を掲載して参りました。過去の掲載記事はバックナンバーとして環境安全推進センターホームページに掲載しておりますので、いつでもご覧ください。今後ともよろしくお願いいたします。

保護具を着けましょう



富山大学 環境安全推進センターHP ▶▶▶ <http://www.erc.u-toyama.ac.jp> (環境報告書2015 掲載)

発行 富山大学 環境安全推進センター

〒930-8555 富山市五福3190 TEL: 076-445-6124 FAX: 076-445-6074
E-mail: ensahe@adm.u-toyama.ac.jp

ヒヤリ・ハットに関する事例があればご連絡ください。



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。